



2) HIV 検査予約システムの改良 本システムを既に利用中の施設から、利用者がスマートフォンで利用時に画面レイアウトが壊れるとの指摘があり、調査の結果、画面解像度の高いスマートフォン機種では、“図2 構文修正前（セレクトボックスが小さい）”に示すようにボタンやセレクトボックス等のコンポーネントが小さく表示されてしまうため、操作性を損なっている事が確認された。スマートフォン対応のHTML5 準拠の構文に書き換える事で対応した（図3）。

図2 構文修正前（セレクトボックスが小さい）

図3 構文修正後

### 3) ヒアリングによる主な意見と要望

保健所等で既に実施されている HIV 検査に HIV 検査予約システムを導入する事についてのヒアリングで得られた主な意見と要望を表1に示した。

表1 保健所等でのヒアリングでの主な意見等

- ・実施人数が多くないから現状で十分。
- ・検査人数が減っているのに予算投入する意味が無い。
- ・先着順の方が手軽で良い。
- ・既に体制が出来上がってしまっている。
- ・導入したいと思うが権限が無い（実務者）。
- ・予算確保が難しい。
- ・電話予約だけで十分。
- ・電話予約分も管理できるようにならないか？
- ・婦人科検診や集団検診で使ってみたい。
- ・県内全保健所をまとめて検討してみたい。
- ・夜間に利用が多いのは驚いた。
- ・多言語対応出来ないか。また、外国人の予約時は「通訳希望」オプションを付けられないか。
- ・電子アンケートシステムを付けられないか。

### 4) HIV 検査予約システムの運用状況

①東京都豊島区池袋保健所 平成29年度研究では新規に HIV 検査予約システムの新規導入（試行および正規を含む）の希望施設は無かったが、平成28年度研究より試験準備を行っていた東京都豊島区池袋保健所で年3回（H29.6.12, 8.7, 12.2）の即日検査にて HIV 検査予約システムを試験的に稼働させた（表2）。

実施日	予約枠	予約者数
6月12日	35人	18人
8月7日	35人	19人
12月2日	35人	29人

表2 池袋保健所での HIV 検査予約実績

平成30年度は今年度同様に年3回の即日検査の実施に加えて、年6回の通常検査の計9回の HIV 検査で HIV 検査予約システム（Ver.3.00）を稼働させる予定である。

②東京都南新宿検査相談室との取り組み 当研究班と東京都によるデータ収集支援として、

HIV 検査予約システムが稼動している東京都南新宿検査相談室のホームページ上に特設ページ（図 4 南新宿検査・相談室の特設ページ）を作成し、ゲイ向け出会いサイト上に期間限定（H30.1/29～2/11 の 2 週間）でバナー広告を掲載し、バナー広告からの誘導データ収集の支援作業を実施した。



図 4 南新宿検査・相談室の特設ページ

同サイトからの誘導による HIV 検査予約者数は 2 週間で 59 名が確認された。

5) HIV 検査予約システムと連動したアンケート  
今年度、HIV 検査予約システムと連動して稼動可能な WEB アンケートシステムに実装するアンケート項目の検討を行なった。

#### 6) 不正アクセスの監視

これまで HIV 検査予約システムに対する不正アクセスは、基本的にアクセスログデータを目視による確認を実施してきたが、IPA（情報処理推進機構）が提供する「ウェブサイトの攻撃兆候検出ツール iLogScanner」を活用し、監視負担の軽減を図ることとした。

### D. 考察

平成 29 年度は、関東圏を除く全国の保健所に HIV 検査予約システムの紹介資料を送付したが保健所からの問合せはゼロ件という結果であった。

HIV 検査予約システム導入施設での本システムの利用率は、およそ 90%であった（図 5）。ある施設では、本システムの導入後、電話での検査予約受付を取りやめて、検査予約は HIV 検査予約システムのみとし、電話予約のための窓口スタッフを“相談”窓口スタッフとして有効活用する事で、電話による相談受入のための時間を多く確保できたとの報告もあった。

検査機関 A 毎日実施	東京 通常35人/Day	予約者数7,578人	(予約率:96%)
検査機関 B 第2,4日曜日	愛知 40~43人/Day	予約者数: 675人	(予約率:95%)
		男:72.0% 女:26.5% 不明:1.5%	
検査機関 C 第1,3土曜日	愛知 通常62人/Day	予約者数: 803人	(予約率:90%)
		男:76.8% 女:20.8% 不明:2.4%	
検査機関 D 第3土曜日	東京 44~48人/Day	予約者数: 384人	(予約率:86%)
		男:70.3% 女:28.9% 不明:0.8%	
検査機関 E 毎週日曜日	大阪 40~50人/Day	予約者数: 1,940人	(予約率:100%)
		男:67.2% 女:30.4% 不明:2.4%	
他	イベント時の一時/定期使用: 東京×5施設	名古屋×1施設	集計期間: H29.4/1~H29.12/31

図 5 HIV 検査予約システム実績

しかし、現在導入されている HIV 検査施設は、行政機関が HIV 検査のために立ち上げた専門の検査施設であったり、NPO 法人が運営している検査施設であったりと確保された“予算”で運用している機関がほとんどであった。ヒアリングの中には、現場の意見として、導入によって検査件数の向上、ハイリスク層に絞った検査誘導の効果を得ることができる可能性を期待する意見もあったが、“権限がない”、“予算が確保できない”等の理由で、試験導入には至らなかった（表 1）。  
今後は、本システム導入について多方面から検討を行い、導入で効果が期待できる保健所等を洗い出し、積極的に周知を続ける必要があると考える。

今年度研究では、HIV 検査予約システムと連動して稼動可能な WEB アンケートシステムに実装するアンケート項目の検討を行なったが、今後、

各研究者の意見やアンケート項目の追加要望等を募集し、様々な研究にフィードバックできるアンケートシステムの改良についても検討する。

## E.結論

HIV 検査予約システムは、東京都豊島区池袋保健所のように、短期使用であっても導入で一定の利用が確認され、その導入効果を期待して新たな利用が計画・予定された施設もあった。また、ヒアリングから現場では導入を望む声も確認できても、“予算”確保等の面から導入が困難との声もあった。

これらの現状を踏まえ、今後は、平成 28 年度に収集した関東圏の保健所の HIV 検査に対する考えや要望と、現在収集している全国の保健所の HIV 検査に対する考えや要望を纏めて分析し、また、既に導入している検査施設に対しても導入した事による効果や改善要望等をヒアリングし、分析結果から導入により効果が期待できる保健所を洗い出しながら、対象を絞って具体的に導入の提案を行なっていく事とする。

## F.健康危険情報

なし

## G.研究発表

### 1. 論文発表

なし

## 2.学会発表

なし

## H.知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）

### ①特許取得

なし

### ②実用新案登録

なし

### ③その他

なし